

RPJ News

2016 年 新年号

特定非営利活動法人(NPO法人)

精神保健福祉交流促進協会 Refresh Project

〒115-0045 東京都北区赤羽2-45-8 ファーストビル赤羽205

TEL/FAX 03-5939-9603

毎月1回発行

E-mail ref-pj@mx5.ttcn.ne.jp

発行責任者：志井田美幸/ 長野敏宏/ 仁木守

ホームページ <http://www2.ttcn.ne.jp/ref-pj/>



内容

* 2016 年を迎えて

新年のご挨拶

協会 理事・監事・実行委員

* 事務局からのお知らせ

2016 年度事業計画 および ヴィレッジセミナー募集開始のお知らせ

* 2016 年を迎えて … 新年のご挨拶

① 新年のご挨拶

代表理事(理事長) 仁木 美知子



新しい年の始まりです。本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

協会の1月は平成28年度の年度始めです。気持ちを新たにスタートしたいと思います。早いもので協会が始まってから今年、15年目に突入します。節目の年で変化の年です。協会の今年の目標は、「皆さんの気持ちに寄り添い、皆さんと共に生き抜く」であります。そして、私個人の中に浮かんだ言葉は「ツキヌケル」です。何故この言葉なのか、まだ本人にも定かではないのですが、年明け早々この言葉が浮かびました。(多少、マーフィー?)

今年は、諸事情から実施できずにいましたヴィレッジセミナーを4月に再度トライします。様々な調整ができたので、募集を開始します。今回は前例にとらわれず、新たな感覚で企画しましたので、シンプルな企画となっています。実質をとります。また6月には皆さん待望のリフレッシュセミナーを御荘で実施します。日程のご調整、上手いきますように！9月は魅力的な内容を持っているトロントセミナーが決定です。またイタリアセミナーも11月後半に実施します。という事で坦々と、しかし情熱を持って進めて参ります。多くの皆さんと色々なところでお会いできますよう、ご協力を切に望みます。

協会ではたくさんの方から年賀状を頂きました。皆さんの近況が分かり、うれしい次第です。この場をお借りして、お礼を申し上げます。今年も赤羽事務所で皆さまをお待ち申し上げます。健康で明るい年にしましょう！

② 謹賀新年

理事 大分県 寺町クリニック 太田 喜久子

新年は皇室の一般参賀にしました。1月2日朝から5回天皇・皇后さまを始め皇室の方がお立ちになります。外国人とその子供たちの多さにびっくり、またお年寄りが休み休み前に進まれるのも感動的でした。人の波と日の丸の旗でほとんど見えませんでした。天皇陛下の新年のお言葉をお聞きし、私は日本人だと改めて自覚した次第です。

さて最近はやりのオープン・ダイアログという手法がありますが、モッシャーのソテリアハウスの取り組みの原理と同じである、>私たちは、狂気を尊厳を持って真剣に取り扱おうとすれば、狂気はすべて了解可能であると信じる。>狂気を了解不能だと拒否する時代精神が支配するのは、私たち自身の中に狂気に向き合おうとしない人間本来の性質と、それがもたらした文化を反映しているためである。狂者を病院に拘禁し地域社会から排除しようとする私たちの欲求は“見ざる、聞かざる、忘れてしまう”態度に具体的に現れている。私たちは自分のうちなる狂気を自覚したくないのである。>(コミュニテイメンタルヘルスP13～P14)と教えていただきました。谷中先生はモッシャーをよく引き合いに出されていましたが、そこには双方に共通するものが多くあったのでしょうか。偉大な先人は早くから狂気への関わりを見透かし、凡人は歩きながらようやく気付くのでしょうか。谷中先生は既にオープン・ダイアログを実践されていたのでしょうか？今年もたくさんの疑問に出会い、考え、悩みながら歩みたいと思います。

③ 本年もよろしくお祝い申し上げます

理事 社会福祉法人町にくらす会(ひたちなか市) 志井田 美幸

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祝い申し上げます。

2016年春今年1年が皆さまにとって健やかな年になることを心より願っております。



④ 2016年を迎えて

理事 東洋大学 白石 弘巳

寒中お見舞い申し上げます。

今年は、2日朝に大手町で箱根駅伝の応援をして、翌日からの精神科病院の当直が仕事始めとなりました。お陰様で相変わらず、あわただしく過ごさせていただいております。

当協会の活動にはなかなか参加できずに申し訳ございません。昨年唯一の活動はブルチ教授の講演会とその後の懇親会に参加したことでした。今年は、できたらもっと参加したいと考えておりますが、どうなりますことか。

イタリアつながりで一つ思い出したことを書いておきます。私は1992年にフィレンツェの元・サンサルビ精神病院を訪問しました。かつては2000床を有するトスカナ地方最大の精神科病院だったのですが、バザーリア改革で200人程度の患者さんが残っている状況でした。その見学の際、院長が「日本はストレス社会で自殺者が多くて大変ですね」とおっしゃったのです。自殺者が毎年3万人を超える以前のお話です。いい薬やいい治療体制を作ること大切だけれど、一番大切なことは住みやすい社会を作ることだと思います。今年に住みやすい日本を作ることについても、皆さんと意見交換できたらと思います。

本年も宜しくお祝いいたします。

⑤ 2016年 謹賀新年

理事 (社福)尾道のぞみ会 高垣 孔幸^{よしゆき}

旧年中は、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで当法人も設立20年が過ぎ、人に例えるなら成人になった。というところでしょうか。

今後も職員一同、一丸となって福祉サービスの充実・向上に努め、利用者の方々やその家族の方、地域の方、関係者の方から「愛される施設」を目指してまいりますので、倍旧のご理解、ご指導、ご支援をよろしくお祝いいた

します。

皆様方のご多幸、ご発展を心よりお祈り申し上げます。

⑥ 2016年が始まっています

理事（公益財団法人）正光会御荘病院 長野 敏宏

あけましておめでとうございます。少しのんびりした気持ちで昨年末の原稿を書かせていただいたのが、遠い昔に感じています。釣りと初詣には行きましたので休みはとれたのですが、少しだけ予測外の動きがあったことと年始早々に検討会がはじまったことで緊張感が高めでした。

今日、愛南町社協の生活困窮者支援の担当社会福祉士の方と少し長く話すことができました。とてつもなく熱心に、かなり厳しい方に関わり続けてこられ、支援のこれからのことに悩まれていました。数年前だと、いけいけどんどんで、密な支援に同意していたような気がするのですが、熱心に支援を充実させようとする話に違和感を感じ、改めて、自分自身以外の方の「どうなれば幸せか？」ということを考えることがどれだけ難しいかと考えさせられました。「多様な方が、多様な生き方を選択できるように」という方向性をこの数年強く意識してきていて、そのことと重ね合わせ考えさせられたのだと思います。今年は、少しタイトになってきていた視野を拡げることを意識しながら、すすめるべきことは着実に前に向けていきたいと思います。

6月にはリフレッシュセミナーでもお世話になります。今年もよろしく願いいたします。

⑦ 新年明けましておめでとう御座います。

理事（社福）ひつじ 藤田 安

新年のご挨拶、とっくに過ぎてしまってからご挨拶。日々の慌しさが戻ってきて、新春を祝うというのにはさすがに時期がずれてしまい、失礼の程お許しいただきたいと思います。昨年は大過なく一年を終え、今年もそのようであって欲しいと願っておりますが、今年こそはスタートさせたい愛南町の人たちとの「アボカド」作り、ねじを巻き過ぎない程度に動き出そうと思っています。

私たちは、精神障害者の就労支援を含む生活支援を日常の仕事にしています。これを行うことが当たり前というのでは、いかにも当たり前。それ以上でもそれ以下でもない平凡な日々を送ることが生業となります。別に奇抜なことに力を入れて気張って見栄をきろうなどとは思いませんが、冒険や挑戦をすることを通して知ることが出来る「生み出す」楽しさや、「作り出す」喜びとは縁遠い生活を送ることになってしまいます。

かねてより、考え、思ってきたことは、どのようにして楽しめる生活、喜べる生活に近づけられるか、ということでした。もちろん私が楽しめない生活など考えられません。苦しみはあっても、「やっぱり楽しくなくちゃ!」、「そうだよねえ!!」と顔を見合わせて、笑みがこぼれる。こんな日々が理想的といたいところですが。

こんな思いを詰め込んで、今年こそは、魚釣りに行こうと思っています。



⑧ 2016年に向けて

理事 島根県出雲市 三島 武司

みなさん明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

さて、私事で恐縮ですが、今年市役所に勤めて30年目の節目の年になります。その間、様々な職場を経験しましたが、現在は子ども政策課というところで、児童虐待の防止・対応やひとり親支援などを所管しています。

初めて児童福祉を所管するようになって驚いたのは、児童虐待の実態でした。その背景には、経済的困窮・DV・離婚・地域孤立などがある他、精神疾患・嗜癖依存なども大きな要因となっています。

そのため、個々の機関では十分な対応が難しくなっており、多くの市町村では公的機関はもとより保育所や医療機関など民間団体も含めた要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）を立ち上げています。

現段階でも出雲市の協議会は機能していると思っておりますが、今年連携をさらに拡大・強化できればと考えています。そのため、関係機関がそれぞれの役割の他に「限界」についても理解しあうことから始めたいと思います。

そして、最終的には関係機関がそれぞれの分野を超え、当事者ご本人のための目的を共有することが自然にできるようになればと考えています。

⑨ 新年の挨拶

監事 エスポアール出雲クリニック 高橋 幸男

暖冬です。ポカポカの新年を迎えて過ごしやすいたい言えばそうですが、雪がなくて困っている人も多いと思います。夏は渇水を心配しないといけないのでしょうね。

さて、私は今年が「古希」です。1948(昭和 23)年 3 月生まれなので、正確には来年がそうなのですが、当地では小学校の学年単位で祝いますので、1947 年世代と一緒に、「古希」扱いされるのです。1 年早くてもそういう年齢、「70 歳」なのだ、改めて自覚した新年です。75 歳頃までは、このまま仕事をしないとイケないだろうと思っていますが、健康寿命のこともありますから、1 日 1 日を大切に暮らしたいと思っています。

前置きが長くなりましたが、今年の抱負？について少し書いてみます。

まず認知症に関しては、都立松沢病院長の齋藤正彦先生、日本医大講師の上田諭先生、いまいせ診療センター一長水野裕先生と「認知症の精神病理を考える会」を立ち上げました。先日も松沢病院で 2 回目の勉強会をしました(それにしても松沢病院の広さには驚きました)。当面 3 ヶ月に 1 回のペースで続けていきたいと思っています。認知症に関しては、卒業どころか、もう一段アクセルを吹かさないとイケないみたいです。

残りの人生のエネルギーを注ぎたいと思っていた高次脳機能障害に関しては、すこし勉強不足もあって焦っています。脳損傷のある方の就労支援は、差し迫ったテーマですが、高次脳機能障害も精神障害ですから、精神障害者の就労支援と考え方も基本的に同じです。何とか形のあるものを作りたいと思っています。

就労支援は最も大切な支援のひとつですが、障害を持った人を地域で支えるには、前々号で長野先生のご指摘もありましたように、いかに有効なケアマネジメントを行なわれ、それに基づいた実践ができるか、が課題でしょう。この頃介護保険領域で声高に言われ始めた「地域包括ケア」ももともとは精神障害の世界ではどうの昔からそういう方向性を示してきたわけですが、介護保険領域も含めて、中途半端で不十分なところが現状だと思います。亡くなった野中猛先生が行なっておられたケアマネジメントを今一度見直しつつ、忘れかけているヴィレッジ研修の成果とつなげながら、何とかしなければと改めて思います。そういう意味では、ブルチ先生の心理社会的リハビリテーションの考えもつながってくるわけですから、今年はイタリア研修が実現できるように新年から計画してみたいと思っています。

その他、2 か月に 1 回定期的に行っている石巻市での震災支援活動は、今年も継続します。そのためにも前記しましたように健康面に気を付けたいと思いますし、生活のあり方を見つめ直したいなと思っています。

今年が皆さまにとっても、協会にとってもよき 1 年であることを祈っております。

⑩ 新年のご挨拶

監事 (公益財団法人)正光会 宇和島病院 渡部 三郎

あけましておめでとうございます。

暖かく穏やかな元旦を迎えました。

精神保健福祉交流促進協会の皆様との出会いに感謝。

知恵とエネルギーを分かち合い、進んでいきましょう。

協会会員皆様のご健康とご活躍、事業の発展を願います。



⑪ あけましておめでとうございます

実行委員 京都医療福祉専門学校 藍田 寿弘

昨年も仁木ご夫妻をはじめ、皆様方には大変お世話になり、ありがとうございました。

「坂村真民一日一言」の一月一日に「願い」という次の詩が紹介されています。

★★ 日本を
楽しい国にしよう
明るい国にしよう
国は小さいけれど
住みよい国にしよう
日本に生まれてきてよかったと
言えるような
国造りをしよう
これが二十一世紀の日本への
わたしの願いだ

この願いは、私たちの願いでもあるように思います。

昨年もダルコ先生に京都にもお越しいただき、学生や関係の皆さま方にイタリアにおける実践を判りやすく、情熱をこめてお話いただきました。控室などでダルコ先生、奥様から話があったのはイタリアに來られた多くの「難民」の方々の状況と、受け入れる側の複雑な思いでした。

グローバル化が進む現在、私たちが取り組まなくてはならない問題は山積しているように思います。だれにとっても住みよい国になるよう世界にも目を向けた交流促進協会の取り組みは、微力かもしれませんが、その役割をはたしていけるのではないかと思っています。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

⑫ 2016 年始めのご挨拶

実行委員 (社福) ひつじ 大田 佳代

あけましておめでとうございます。

この冬はとても暖かく、過ごしやすいのでありがたいのですが、冬らしくなくて物足りない気もしています。寒くなったら着ようと意気込んで買ったコートの出番もなさそうだし・・・こんなことを思っているうちにお正月休みも終わり、いつもの生活に戻っています。

昨年あと数日で1年も終わりという日、県からメールがありました。その内容は、国の補正予算編成に伴う施設整備補助金申請書類の提出についてでした。「うわ～、どうしよう」と一瞬あたまが真っ白になりました。今年もきっといろいろなことがあると思います。目の前のことにとらわれることなく、広く大きな視野を持って動くことを忘れずにいたいと思います。

皆さまにとって今年1年が良い年となりますように。本年もどうぞよろしく願いいたします。

⑬ さあ、2016 年の幕開け、新年新たに希望をもって！

実行委員 エスポアール出雲クリニック 高尾 由美子

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いします。

年末に原稿を送れなかったので、「新年こそは！」と思ってPCに向かいました。RPJ News11月号、12月号を読み返しながらか、私は海外研修ではヴィレッジにしか参加出来ていません。リフレッシュセミナーに参加すると、かなりの方がイタリア研修に参加されているのに驚きました。 昨年の10月のブルチ先生の講演を聴いてやっぱり行ってみたいイタリアですが、取り敢えず、じっくり、ゆっくり現場で向き合える支援を目指していきたいと思えます。デイケア所属で相談支援の兼務なんておかしいですね。せいぜい数件ですが・・・。一人が専属で何百件も、と聞くと「はっ!？」と思います。また、その後体調不良になって現場を去ってしまった人もおられると聞くこともあり、それは如何かと考えさせられます。

・・・ということで原点に立ち戻ってのケアマネジメントの学び直し、私も是非お願いしたいです。そんなことが言える協会でもあるのかな?と思ひながら、希望の幕開けとなりました。感謝、感謝です。刺激をもらえるのが良いで

すね。



⑭ 新年のご挨拶

実行委員 社会福祉法人尾道のぞみ会 橋本 周治

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は皆様には大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年は左脚大腿骨の髓内釘摘出手術をしました。不思議なもので、左脚のしびれもなくなり、ジョギング程度なら走れるくらいに回復しました。これまで自転車の大会やイベントへの参加は控えめにしていたのですが、今年は参加する回数を増やしていこうと考えています。

また、昨年は地元の高校の同窓会の役員をしたこともあり、同級生だけでなく、先輩方や後輩達と連絡をする機会が増え、たくさんの繋がりを持たせていただくようになりました。様々な職業や人生経験をお持ちの方々の話や考え方はとても為になり、私自身の考え方も随分変化した年でした。これまでの自分がいかに薄っぺらで偏った人間であったかを再認識し、大いに反省する機会になりました。

こういった人と人との出会いをこれからも大切にしていき、色んな意味で厚みのある人間になりたいと、新年早々の初詣を兼ねたサイクリングで家族の健康とともに祈願した次第です。

今年は全国の皆様の取り組みを勉強させていただきたいと考えております。お邪魔だとは思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



* 事務局からのお知らせ

(1) 2016年度事業計画 および ヴィレッジセミナー募集開始のお知らせ

本年度は、リフレッシュセミナーと3回の海外研修ツアーを中心に、毎月のRPJNewsの充実をテーマに事業を進めてまいります。また「メンタルヘルスとウェルフェア」発刊も進めていく予定です。ご期待ください。

a) リフレッシュセミナーin 御荘(仮)の開催

日程 2016年6月18日(土)・19日(日)

場所 愛媛県南宇和郡愛南町 正光会御荘病院他

b) ヴィレッジセミナーの開催案内と募集開始

日程 2016年4月25日(月)～5月1日(日)

詳細は添付資料をご覧ください。

c) トロントACTセミナーの開催

日程 2016年9月18日(日)～24日(土)

d) イタリア地域精神保健視察の開催

日程 2016年11月下旬



—編集後記—

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いします。本新年号で、2年ほど休んでおりましたヴィレッジセミナー再開の募集を開始したいと考え、現地のMr.Joeと連絡を取り合い内容が整いました。原点回帰し「ケアマネジメントを学ぶ」をテーマに開催しますので、多くの皆様のご参加お待ちしております。

今年も皆様に利用していただける活動を推進してまいりますので、昨年にも増してご支援のほどよろしくお願い申し上げます。(事務局仁木守)

〒115-0045 北区赤羽2-45-8ファーストビス赤羽205 TEL/FAX03-5939-9603